

## 令和4年度跡地整備工事の実施内容（案）

### 1 実施内容

県境不法投棄現場の跡地整備については、第63回協議会（令和元年9月）において、残置及び撤去施設、新設する施設を整理し、現場最終形を決定した（資料4-2）。

現時点では、現場内地下水の浄化終了要件の達成までは至っていない状況であるため、令和4年度当初から実施する跡地整備工事について、現場内では地下水浄化に影響しない工事を実施し、現場外では浸出水処理施設の撤去等を実施する。

### 2 工事の概要

#### （1）現場内（資料4-3 P1）（第62回協議会で了承済み）

揚水による浄化終了後に現場内地下水を現場外に自然流下させるための準備工を実施。

##### ① 鉛直遮水壁付近への新規縦坑設置工事

- ・現場内地下水を集水するための集水用横ボーリングを伴う縦坑1基（CW-4）を施工。

（令和3年度工事の錯綜を回避するために令和4年度工事としたもの）

##### ② 集水井戸を連結する地下水流下設備工事

- ・集水井戸を連結し、地下水を自然流下させるための通水孔を施工。

通水孔：CW-1～中央沢、CW-2～CW-3、CW-3～CW-5、CW-4～CW-5

通水孔遮水壁貫通部：CW-5～CW-6

※CW-4～CW-5を連結した場合であっても、CW-5の天端位置がCW-4の集水用横ボーリング上流端部の位置よりも約5m高いため、地下水が溢れ出ることはなく、CW-4又はCW-5からの揚水は不要である。

※通水孔口には止水蓋を設置し、揚水による浄化が終了するまでは現場内地下水を現場外に自然流下させない構造とする。

#### （2）現場外（資料4-3 P2）（第63回協議会で了承済み）

浸出水処理施設の撤去と施設撤去後の浸出水の管理等に必要な工事を実施。

##### ① 浸出水処理施設の撤去工事

- ・浸出水処理施設の停止基準を満たしているため、施設の運転を停止し撤去。

##### ② 浸出水貯留池の改修工事

- ・浸出水処理施設の撤去後、浸出水貯留池に浸出水を導水し、モニタリング池として活用するための改修。

##### ③ 浸出水導水管の新設工事

- ・これまで浸出水処理施設へ流入していた浸出水を貯留池に導水するための新たな導水管を施工。

##### ④ 処理水放流管の撤去工事

- ・浸出水処理施設の撤去に伴い不要となる、処理水放流管を撤去。

### 3 工事スケジュール

現場内の跡地整備工事は令和4年12月までに、現場外の跡地整備工事は令和5年3月までに完了予定である。

#### 【工事スケジュール】

工事内容	令和4年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<b>現場内</b>	発注												
①縦坑設置			← R4.8完了予定 →										
②地下水流下設備			← R4.12完了予定 →										
<b>現場外</b>	発注												
①浸出水処理施設撤去			← R5.3完了予定 →										
②浸出水貯留池改修			← R4.7完了予定 →										
③浸出水導水管新設			← R4.7完了予定 →										
④処理水放流管撤去				← R4.12完了予定 →									

【令和4年度跡地整備工事内容一覧】

工事内容		仕様		
<b>現場内</b>				
新規立坑（集水井戸）	規格	深さ	構造、設置箇所	用途
CW-4	φ3500mm	13.0m	ライフプレート、 遮水壁内下流部付近	地下水を集水
集水用横ボーリング	規格	長さ	構造、設置箇所	用途
No. 1～3	φ40mm	180.0m (60m×3)	VP管、 CW-4(第一帯水層)	地下水を集水
No. 4～6	φ40mm	180.0m (60m×3)	VP管 CW-4(第二帯水層)	地下水を集水
地下水流下設備	規格	長さ	構造、設置箇所	用途
通水孔(CW-1)	φ100mm	18.4m	VP管、CW-1～中央沢	地下水を自然流下
通水孔(路線①)	φ250mm	98.0m	HP管、CW-2～CW-3	地下水を自然流下
通水孔(路線②)	φ250mm	34.6m	HP管、CW-3～CW-5	地下水を自然流下
通水孔(路線③)	φ250mm	33.7m	HP管、CW-4～CW-5	地下水を自然流下
通水孔(路線④) (遮水壁貫通部)	φ250mm	24.0m	HP管、12m×2条 CW-5～CW-6	地下水を自然流下
<b>現場外</b>				
浸出水処理施設撤去	規格	数量	構造、実施内容等	
建屋、水処理設備等 撤去	—	1式	構造：鉄骨造2階建（地下水槽RC造） 実施内容：施設の撤去	
堰堤開削、法面工	—	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災調整池までの堰堤を開削し、 自然流下する水路を構築</li> <li>・ 法面に植生を施し保護</li> </ul>	
浸出水貯留池改修	規格	数量	構造、実施内容等	
堰堤開削	—	1式	No. 2貯留池から防災調整池までの 堰堤を開削し、自然流下する水路を構築	
堰堤嵩上げ	2段構造	1式	浸出水と雨水が混合しないよう、 貯留池の仕切り堰堤に 大型土のうで嵩上げを行う	
浸出水導水管改修	規格	数量	構造、実施内容等	
新設導水管	φ600mm	203.0m	構造：ポリエチレン管（内面平滑管） 実施内容：No. 2貯留池へ接続	
処理水放流管撤去	規格	数量	構造、実施内容等	
放流管撤去	φ75mm φ100mm	1766m	構造：HIVP管 実施内容：県道部に敷設された管の撤去	